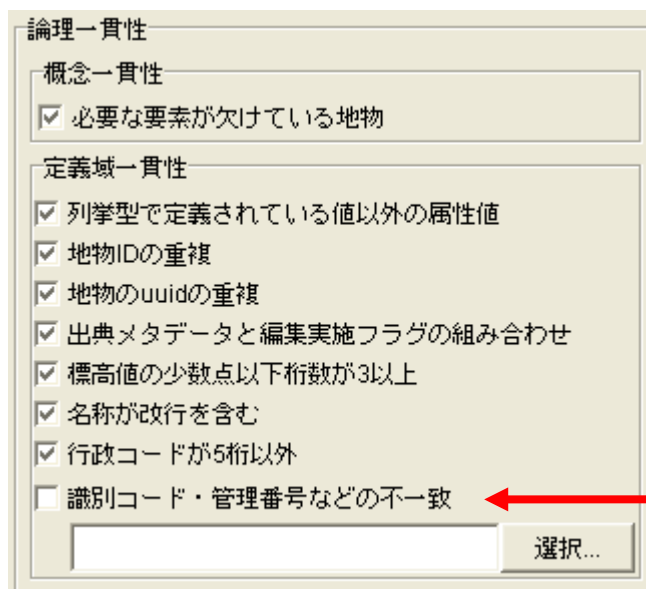


1. 基盤地図情報XML検査

メニュー[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]に以下の検査を追加しました。



【識別コード・管理番号などの不一致】

OID 識別コード・OID 管理連番・整備作業番号・測量成果等メタデータ ID(出典メタデータ)の組を CSV ファイルで指定して、指定した値以外があれば検出します。

CSV ファイルは 1 行目はヘッダです。2 行目からそれぞれの項目です。成果が複数ある場合、3 行目から追加しておきます。サンプルの CSV ファイル(識別コード・管理連番・整備作業番号・測量成果等メタデータ ID.csv)はインストールフォルダにあります。

	A	B	C	D
1	OID識別コード	OID管理連番	整備作業番号	測量成果等メタデータID(出典メタデータ)
2	10-00200	7-123	H1610127_S01	8-192

以下のチェックを行います。

- ① 地物の属性「uuid」と要素「地物 ID」「整備作業番号」「出典メタデータ」があるか？、空白ではないか？
- ② 「uuid」と「地物 ID」が同じか？
- ③ 「地物 ID」の文字列に 4 個のハイフンが含まれていて、識別コードと管理連番を分離できるか？
- ④ 「地物 ID」から得た識別コードと管理連番、「整備作業番号」「出典メタデータ」それぞれについて CSV にあるか？
- ⑤ 「地物 ID」から得た識別コードと管理連番、「整備作業番号」「出典メタデータ」の組が CSV の行にあるか？

2. 基盤地図情報XML作成

メニュー[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 作成][XML ファイルへ変換][XML ファイルへ変換 2]のダイアログで GI

要素の属性について第 3.0 版か第 2.0 版あるいは任意を指定できるようにしました。

共通項目 (GI要素の属性)

製品仕様書第2.0あるいは3.0版 任意

xsi:schemaLocation http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema3.0 FGD_CDB_Schema3.0.xsd

xmlns:jps http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.1_2009-05

xmlns http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema3.0

version 1.0

timeStamp 2008-10-10T20:08:10

【共通項目 (GI 要素の属性)】

基盤地図情報 XML ファイルの「GI」要素の属性の内容を指定します。「製品仕様書第 2.0 あるいは 3.0 版」では以下の文字列をセットします。

第 3.0 版

属性名	属性値の文字列
xsi:schemaLocation	http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema3.0 FGD_CDB_Schema3.0.xsd
xmlns:jps	http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.1_2009-05
xmlns	http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema3.0
version	1.0
timeStamp	2010-03-26T12:00:00

第 2.0 版

属性名	属性値の文字列
xsi:schemaLocation	http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema2.0 FGD_CDB_Schema2.0.xsd
xmlns:jps	http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-03
xmlns	http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema2.0
version	1.0
timeStamp	2008-10-10T20:08:10

「任意」では「GI」要素の属性の文字列が指定できます。仕様変更された場合に対応するための項目です。現在のデフォルト値は第 3.0 版を設定しています(バージョン 1.11 までとは異なります)。ダイアログの設定をデフォルトに戻すには、インストールフォルダの「ini」フォルダの「基盤地図情報 XML 作成.ini」を削除して、基盤地図情報作成検査ツールを起動してください。

3. XMLファイルへ変換、XMLファイルへ変換 2

メニュー[基盤地図情報]-[XML ファイルへ変換][XML ファイルへ変換に所属三次メッシュを自動計算するオプション]を追加しました。

製品仕様書 <input checked="" type="radio"/> 第2.0版 <input type="radio"/> 第3.0版		G要素の属性 <input checked="" type="radio"/> 製品仕様書第2.0あるいは3.... <input type="radio"/> 任意	
シェープファイル 入力フォルダ <input type="text"/> <input type="button" value="選択..."/>		xsi:schemaLocation DB_Schema3.0 FGD_CDB_Schema3.0.xsd xmlns:jpgs www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.1_2009-05 xmlns http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema3.0	
<input checked="" type="checkbox"/> シェープファイルの座標は平面直角座標系 平面直角座標系 系番号 <input type="text"/>		version 1.0 timeStamp 2010-03-26T12:00:00	
基盤地図情報JPGIS-XML 出力フォルダ <input type="text"/> <input type="button" value="選択..."/>		exchangeMetaData 編集作業番号 c-H00 exchangeMetadatalに記録(例Haabcccc-H00) 基盤地図情報メタデータID 56 exchangeMetadatalに記録(例8-456) 作成日 2008-07-11 exchangeMetadatalに記録(例2008-07-11)	
市区町村名 <input type="text"/> XMLファイル名の先頭文字列(例〇〇市)			
XMLファイルのサイズ <input type="text"/> 299 x1000x1000バイトを超えたら分割する			
<input type="checkbox"/> 要素(proxy)を出力する <input type="checkbox"/> [所属三次メッシュ]は自動計算			
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="設定を保存"/> <input type="button" value="設定を開く"/>			

[所属三次メッシュ]は自動計算

要素「所属三次メッシュ」の値を、メニュー[基盤地図情報 XML]と同じ方法で計算しセットします。OFFの場合、シェープファイルの値を参照します。